

令和3年度 地域環境連絡協議会報告書

～子どもたちの安心・安全を守るために～

今年度の玉川警察署、成城警察署管内地域環境連絡協議会をオンラインで実施させていただきました。コロナ禍の状況で、開催が大変困難な状況ではございましたが、初めての試みとしてオンライン会議システム ZOOM を活用し、開催校をはじめとたくさんの方々にご協力をいただき開催することができました。開催内容について下記の通りご報告させていただきますので、ご確認のほどよろしくお願い申し上げます。

※ちーかんとは、「地域環境連絡協議会」の略称です。警察・学校・行政・PTA・校外委員・青少年委員が、子どもたちの安心・安全のために共に考え、学び、話し合う協議会です。

玉川警察署管内担当校 八幡小学校 11/5(金) ZOOM 開催
テーマ

『”今”だからこそ、考えよう。インターネットの「利便性」と潜む「危険性」』

今回は、コロナ禍の開催につき、はじめての ZOOM のみの開催とさせていただきました。
テーマは、”今”だからこそ、考えよう。インターネットの「利便性」と潜む「危険性」。

今年、世田谷区の小学校では児童一人ひとりにタブレットが配布されました。
そこで、このタイミングで、情報リテラシーに関する学びの必要性を感じ、グリー株式会社 社会貢献チームより「正しく怖がるインターネット～事例に学ぶ情報リテラシー～」のご講演をいただきました。
実際にあった事例をもとに、ネットに載せた情報から個人の特定につながるまでの過程など、大人にとっても身の引き締まる内容でした。ネットは道具であり、使い方を知らずに使えば事故につながるのは車の運転と同じです。事故を起こさないために使い方を学びましょう、というとても印象に残る講演でした。

玉川警察署からは、管内の交通事故の発生状況、そして少年課における現況をお話いただきました。時代や情勢の影響で老人の電動自転車の走行の増加や、コロナの影響で普段運転しないドライバーが増えたことが事故発生に影響しているとのことでした。少年課からは管内の現況についてお話いただきました。

開催にあたり、関係各部署、出席者の皆様に多大なるご協力をいただきましたこと、改めて御礼申し上げます。

テーマ 『これからの校外活動のあり方について考える』

【成城警察署より管内現況報告】

管内で起きた事故の件数やその詳細情報に加え、声掛け事案や児童虐待事案などの具体的な事例の紹介とその傾向と対策についてお話がありました。

- ・声掛けは、下校中の人目につきにくい場所で多く発生
- ・子どもの自転車事故が増加しており、大人が正しい乗り方を実践して見せることが大切
- ・地域の犯罪についての情報を得られる警視庁防犯アプリ『デジポリス』の紹介 など

【今年度のテーマに沿った管内3校の活動事例紹介】

■山野小学校より自校における校外活動ボランティア化の取り組みについて

保護者にとって負担感の大きかった従来の体制を見直し、「参加しやすい、楽しかったからまたやりたい」と思ってもらえるような好循環を生み出せるPTA活動・校外活動の形を新たに作ろうと挑戦している取り組みについて紹介がありました。

■塚戸小学校より「塚戸安全パトロール隊(T.A.P.)」の活動について

大型マンションの建設に伴う人口増加を機に発足した、地域の方々みんなで子どもたちを見守ろうという「塚戸安全パトロール隊(T.A.P.)」について、15年前の発足当初のアプローチや、現在に至るまでの活動内容などの紹介がありました。

■明正小学校より自校における集団登校に関するアンケート結果を踏まえて

集団登校の是非とその理由についてのアンケート結果の報告があり、保護者に改めて校外活動の意義を伝えることや、参加しやすい活動に見直すことの必要性を認識したとのお話がありました。

→3校とも、学校・保護者・地域の繋がりを大切にしつつ、無理なく前向きな校外安全活動を継続できるよう、柔軟に工夫している様子が印象的でした。

また、今回のオンラインでの実施について、参加者からは「協議会の内容をより多くの方々に共有することができる」、「移動時間だけでも削ることができて助かる」、「見逃し配信があるのはありがたい」など、多数の好意的なご意見が寄せられました。

子どもたちが毎日安全で笑顔でいられるように、警察署の協力を得て、管内小学校同士で情報交換し、連絡協議会を開催しています。

来年度は、駒沢小学校、下北沢小学校、東深沢小学校、祖師谷小学校が担当校となります。よろしくお願いいたします！

